



開会式において挨拶する菅谷執事長

第五十六回 智山保育大会

七月二十三日・二十四日、高尾山上において「第五十六回智山保育大会」が行われました。

この大会は真言宗智山派寺院関係の幼稚園、保育園、児童養護施設の施設長・教職員を対象とし、毎年夏に一泊二日の研修会が行われております。

初日は開会式にて智山保育連合会の中村信成会長や、当山菅谷執事長が挨拶の後、写経、桑名善光法務課長による法話、懇親会が行われ、翌日の早朝には五時半より朝の勤行並びに大護摩供に参列され、朝食。その後、落語家の三遊亭究斗師匠によるミュージカル落語「空海」が行われるなど、充実した研修となりました。



高橋秀城先生による法話『仏教と日本文学』



一文字一文字丁寧に般若心経を写経する

心静かに丁寧に
第三十七回 高尾山写経大会

七月二十二日(日)第三十七回高尾山写経大会が有喜閣大広間に於いて開催され、約百名の方が参加された。

参加者は写経大会の開会式に際し、山内の僧侶と共に般若心経を誦誦し、その後一文字一文字に仏さまを感じて写経されていた。

昼食の後、午後一時から栃木県さくら市の普濟寺住職で、大正大学講師を務める高尾山報に「法の水荃」を連載中である高橋秀城先生により、和歌や説話集、随筆の中に現れてくる仏教の教えについて、「仏教と日本文学」と題した講演が行われた。

第十二箇度 霊峰富士登拝修行
七月一日(日)～七月五日(木)



出立式後に行われた記念撮影

七月一日より七月五日まで、今回で第十二箇度となる霊峰富士登拝修行が行われた。

七月二日の早朝に大本堂において大護摩供修行が厳修され、修行満足と道中安全が祈願された。

その後高尾山富士浅間社にて法楽をあげ、願文の読み上げと、先達への梵天袈裟の授けが行われた後、富士山頂を目指し、徒歩修行を開始した。

富士吉田市までの道中では当初は気温も高く晴れていたが、低気圧の影響で、次第に天候が悪化した。

登頂を目指していたものの天候が回復せず、やむなく登拝の継続を断念。来年の登頂を胸に誓い帰山した。



各地の寺社で法楽をあげる



雨の中で練行が行われた

富士登拝代参守のご案内

この代参守は、高尾山から続く折りの道を、修行者によって運ばれ、霊峰富士山頂にて法楽し、本年一年の、諸縁吉祥・諸願円満の為に、ご祈念致します。

(授与料) 一体壹千円以上
(代参守と碑伝合わせ)
(申し込み方法)

山上・御護摩受付所又は、葉書に郵便番号・住所・氏名(必ずフリガナを明記下さい。)電話番号を明記の上、左記までお申し込み下さい。

※締め切は、七月末日とし、八月以降の申し込みは、来年度分とさせていただきます

〒一九三-八六八六
八王子市高尾町二二七七
大本山高尾山薬王院内
富士事務局

富士山
登拝御守
代参守
碑伝